

取扱説明書

原工務店製の木製ガラリ製作用補助金物”くし型金物”のお買い上げ、誠にありがとうございます。下記注意事項をよくご理解の上、施工、ご使用頂きますように、お願い申し上げます。

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

絵表示について

 **警告!** 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 **注意!** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

 してはいけない内容(禁止事項)です。

 実行しなければならない内容(強制事項)です。

 **警告!**



■床ガラリ本体と床ガラリの受け材に十分に強度があることを確認してください。床の開口補強も必ず必ず行ってください。ガラリが破損または落下し身体に重大な危険があります。



■床下を危険な薬剤で防腐・防蟻処理された床には絶対に設置しないでください。

■薬剤によっては人体に重大な危険性があります。

床下を防腐・防蟻処理した床に床ガラリを設置する場合、薬剤の安全性を必ずご確認ください。(特に有機系薬剤)

※床ガラリ設置すれば空気上は床下も 室内と同じ配慮が必要です。



建築関係以外のお客様へ

■取付は専門の業者様にご依頼下さい。

本製品の組立、取付はご自分でなさらず、工務店、大工さんなど専門の業者様にご依頼下さい。

 **注意!**



■床仕上げ材と段差が出ないように施工してください。

■人の通行が激しい所には設置しないでください。

人がつまずいてけがをする可能性があります。

その他ご注意いただくこと

設置場所について

床ガラリを人の通行の激しいところに設置しないでください。

ガラリによってつまずいたり滑ったりする可能性があります。

台車等の通行など一点に集中的な荷重がかかるとガラリが破損します。

施設建築などでのご採用について

当店の金物は一般住宅でのご使用を想定して設計、生産しております。学校、幼稚園、保育園、事務所、店舗などの不特定多数の人が利用する施設建築などでのご採用の場合、設計者様で事前に安全性を十二分に、ご配慮、ご検討の上で、ご判断頂きご採用をお願いします。

設置の計画について

設置場所について

床ガバリを人の通行の激しいところに設置しないでください。ガバリによってつまずいたり滑ったりする可能性があります。台車等の通行など一点に集中的な荷重がかかるとガバリが破損または変形する場合があります。

施設建築などでのご採用について

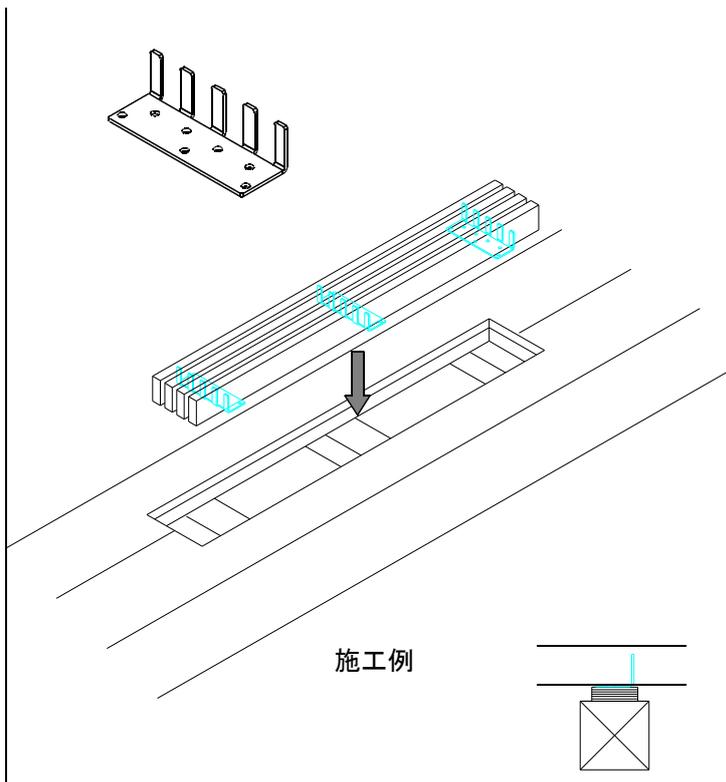
当店の床ガバリは一般住宅でのご使用を想定して設計、生産しております。学校、幼稚園、保育園、事務所、店舗などの不特定多数の人が利用する施設建築などでのご採用の場合、設計者様で事前に安全性を十二分に、ご配慮、ご検討の上で、ご判断頂きご採用をお願いします。

金物の間隔について

金物間隔は床ガバリに使用する材料の樹種、大きさを考慮の上決定してください。金物間の最大スパンは450mmです。

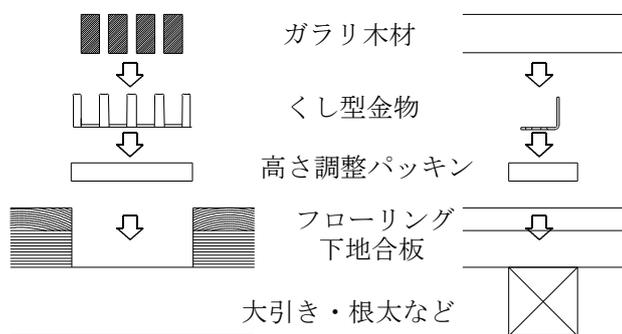
開口について

開口部の補強を必ずしてください。剛床工法など床が構造材になっている場合はガバリの開口が建物構造に影響がないか、構造設計者様にご確認ください。



金物の下に根太などの受け材が必要です。

床ガバリ用木材の寸法の決定



寸法はフローリングと下地合板の厚みの合計がガバリ木材+金物(1.5mm)+パッキンになれば自由に決めて頂けます。ただしガバリ木材の高さは24mm以上必要です。

| | | |
|--------------------|---|--------------------------------------|
| 床仕上げ材 + 下地合板 | = | ガラリ木材高さ + 金物1.5mm + パッキン |
|--------------------|---|--------------------------------------|

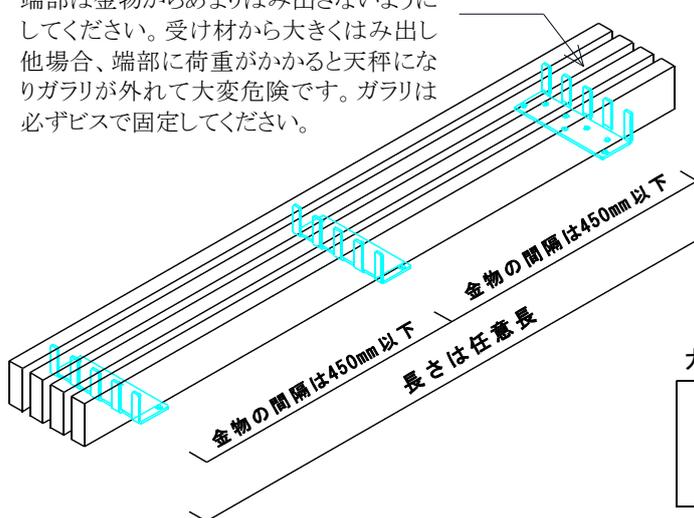
フローリングや合板の厚みが誤差などもあり、ガラリ木材は現場の実寸によって製作されることをお勧めします。ガラリ長さは任意です。

金物の間隔はガラリ木材の樹種と大きさ、求められる強度を考慮の上決定してください。

通常金物間のスパンは300~400mm程度が適当です。最大スパンは450mmです。

金物の下には必ずガバリを受けるための受け材が必要です。端部は最大でも70mm程度までにしてください。天秤にならないようにガバリを下地に固定してください。

端部は金物からあまりはみ出さないようにしてください。受け材から大きくはみ出し他場合、端部に荷重がかかると天秤になりガバリが外れて大変危険です。ガバリは必ずビスで固定してください。



ガラリ木材の寸法例

| | | |
|--|--------|---|
| 床フローリング15mm 構造用合板24mm パッキン12mm の場合 | ⇒ 木材寸法 | 11×25.5 (75-4型の場合) 90-5型の場合) 13×25.5 (90-5型の場合) |
|--|--------|---|

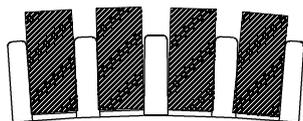
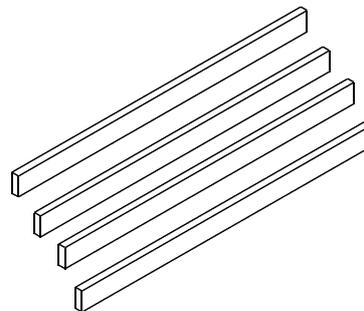
床ガラリの組立て

1.ガラリ木材の加工

床ガラリ使用する木材を加工します。材料の巾は金物を軽く押し込める程度に仕上げてください。棧にする木が大きすぎると金物に変形してふくれたり、反ったりする事があります。

(75型と90型では木材の巾寸法が異なります。高さもご使用の構造合板とフローリングの厚さによって異なります。)材料は仕上げを行い面もとっておきます。

※棧に集成材を使用すると接着部分やフィンガージョイント部分で破損する場合があります。



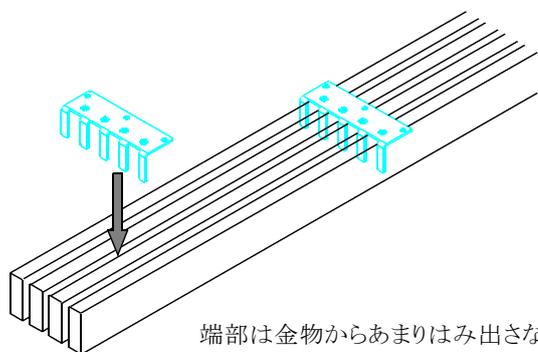
木材の幅が大きすぎると金物に変形したり、組立てたガラリが反ったり、ねじれたりします。

ガラリ木材の寸法例

| | | |
|--|--------|--|
| 床フローリング15mm 構造用合板24mm パッキン12mm の場合 | ➡ 木材寸法 | 11 × 25.5 (75-4型の場合) 90 × 25.5 (90-5型の場合) 13 × 25.5 (90-5型の場合) |
|--|--------|--|

2.金物取り付け

材料を並べ床ガラリの裏面になる方から金物を押し込みます。床ガラリを設置する場所の下地の位置に金物が来るように固定してください。組立てたガラリに反り、ねじれが無いかご確認下さい。



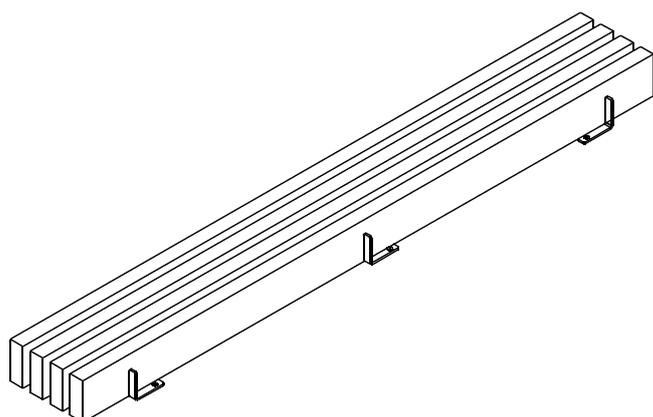
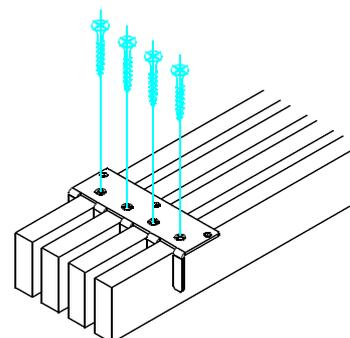
端部は金物からあまりはみ出さないようにしてください。受け材から大きくはみ出し他場合、端部に荷重がかかると天秤になりガラリが外れて大変危険です。ガラリは必ずビスで固定してください。

建築関係以外のお客様へ

 **警告!**  ■取付は専門の業者様にご依頼下さい。
本製品の組立、取付はご自分でなさらず、工務店、大工さんなど専門の業者様にご依頼下さい。

3.金物の固定

金物をガラリの木材にビスで固定してください。樹種によってはビスを締めると木材が割れることがあります。必要に応じて下穴加工をしてからビスを締めてください。



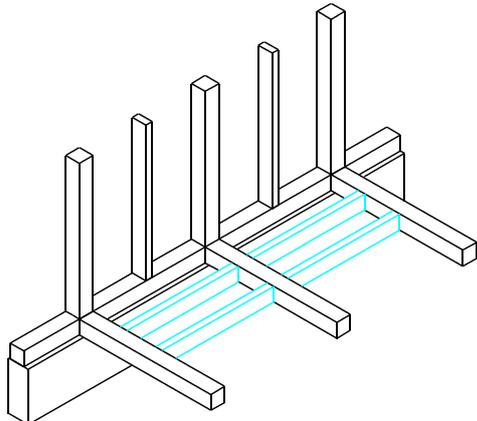
4.ガラリの仕上げ

木材の両端を所定の長さで切断してください。木口(切断面)は面を取るなど手を触れても安全にしてください。取付の前にガラリが反り、ねじれが無いかご確認下さい。

床ガラリーの取付

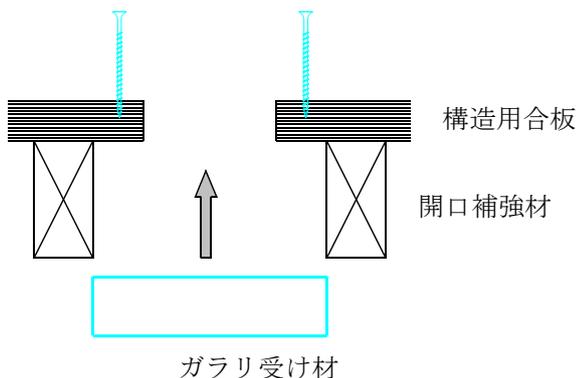
1. ガラリー受け材、開口補強材の施工

所定の場所に受け材を入れます。受け材下地の間隔は300~400mm程度が適当です。床ガラリーに使用する樹種、大きさよる強度を考慮して決定してください。



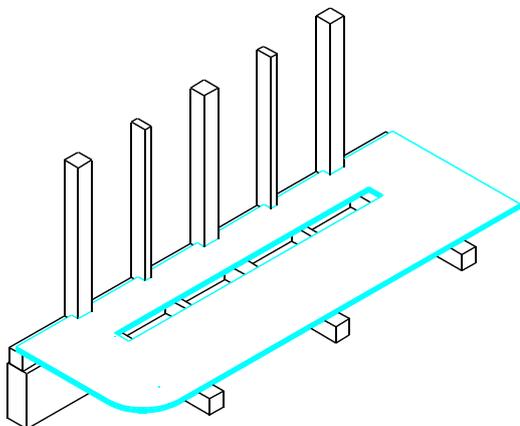
開口補強材は開口寸法より少し広めに設置すると施工が楽です。

床ガラリーの金物の下には受け材が必ず必要です。受け材は構造合板の開口後に、金物が来る位置に構造合板から吊っていただくと施工が楽です。



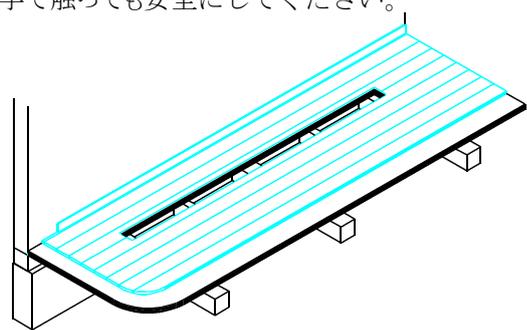
2. 構造合板の施工

構造用合板を貼ります。
フローリングを割り付け開口を開けます。



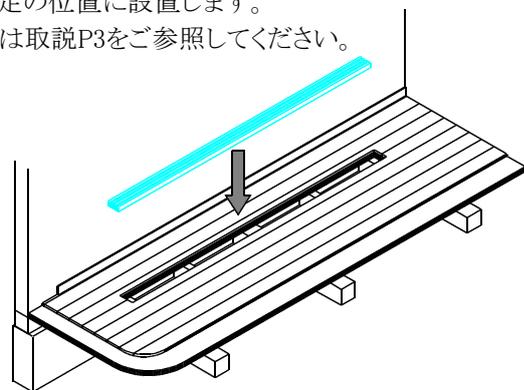
3. 床仕上げ材の施工

床仕上げ材を貼り開口します。
開口部分は手で触っても安全にしてください。



4. 床ガラリーの取り付け

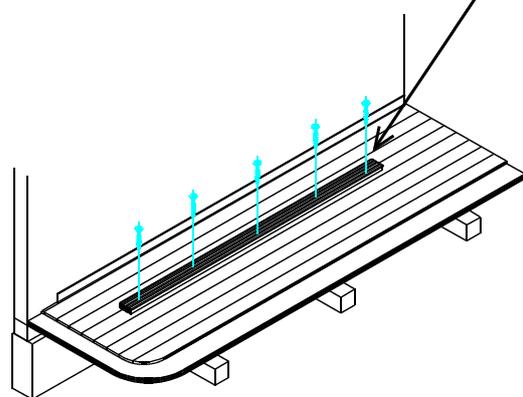
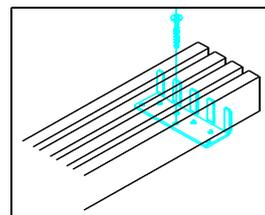
ガラリーと床が同じ高さになるようにパッキンを設置し、床ガラリーを所定の位置に設置します。
(組立て方法は取説P3をご参照してください。)



5. 床ガラリー固定

床ガラリーをガラリーの受け材にビスで固定してください。

(木材の反り、ねじれなどがたつく場合や端部を踏んだとき天秤になりガラリーが外れる場合があります。必ず固定してください。)



製造・販売

 原工務店

大阪市東住吉区西今川2丁目15番8号
TEL 06-6704-6223 FAX 06-6704-6277

原工務店 くし型金物説明書 2022/10



警告!



建築関係以外のお客様へ

■取付は専門の業者様にご依頼下さい。

本製品の組立、取付はご自分でなさらず、工務店、大工さんなど専門の業者様にご依頼下さい。